

## IV ダイオキシン類測定結果

# 令和2年度ダイオキシン類環境モニタリング調査結果について

令和4年1月

岩手県環境生活部環境保全課

## 1 調査結果の概要

岩手県、毎年、ダイオキシン類対策特別措置法第27条第1項に基づき、県内の大気、公共用水域、地下水及び土壌について、ダイオキシン類による汚染の状況を調査しています。

令和2年度の調査結果は次の表のとおりであり、**全ての地点で環境基準を達成しました。**

調査対象		調査 地点数	調査 回数	調査結果 (濃度分布)	環境基準	単位※1
大気環境	一般環境	5 地点	年 4 回	0.0050~0.16	0.6 以下 (年平均値)	pg-TEQ/m <sup>3</sup>
	沿道	1 地点		0.0065		
	発生源周辺※2	4 地点		0.0051~0.0097		
公共用水域	水質	40 地点	年 1 回	0.033~0.26	1 以下	pg-TEQ/L
	底質	40 地点		0.13~3.4	150 以下	pg-TEQ/g
地下水		7 地点	年 1 回	0.033~0.054	1 以下	pg-TEQ/L
土壌	一般環境	7 地点		0.0020~8.9	1,000 以下	pg-TEQ/g
	発生源周辺※2	36 地点		0.011~28		

※1 単位の「pg(ピコグラム)」は1兆分の1グラムを意味し、「TEQ」は測定されたダイオキシン類を、ダイオキシン類の中で最も毒性が強いとされる2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-p-ダイオキシン類の毒性に換算した量(「毒性等量」という)。

※2 本県の主な発生源は、廃棄物焼却施設。

## 2 今後の対応

令和3年度以降も調査を継続していきます。

表1 環境大気中のダイオキシン類の調査結果

(大気環境基準 : 0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup>以下)

区 分	調査地点	ダイオキシン類毒性等量濃度 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )				
		年平均値	春季	夏季	秋季	冬季
一般環境 (一般的住居地域)	盛岡市津志田 <sup>※1</sup>	<b>0.011</b>	0.0067	0.0064	0.0072	0.025
	宮古市横町	<b>0.0050</b>	0.0039	0.0038	0.0046	0.0075
	大船渡市猪川町	<b>0.0050</b>	0.0060	0.0052	0.0045	0.0041
	北上市芳町	<b>0.16</b>	0.60	0.0083	0.0070	0.0069
	二戸市荷渡	<b>0.0051</b>	0.0044	0.0054	0.0052	0.0055
沿 道	一関市三反田	<b>0.0065</b>	0.0092	0.0048	0.0054	0.0065
発生源周辺 (廃棄物焼却炉 の周辺地域)	盛岡市寺林 <sup>※1</sup>	<b>0.0055</b>	0.0040	0.0039	0.0049	0.0092
	久慈市湊町	<b>0.0051</b>	0.0049	0.0040	0.0050	0.0065
	一関市狐禅寺	<b>0.0055</b>	0.0059	0.0049	0.0062	0.0049
	八幡平市平館	<b>0.0097</b>	0.023	0.0041	0.0053	0.0065

※1 盛岡市が測定を実施。

図1 令和2年度ダイオキシン類（環境大気）モニタリング調査地点

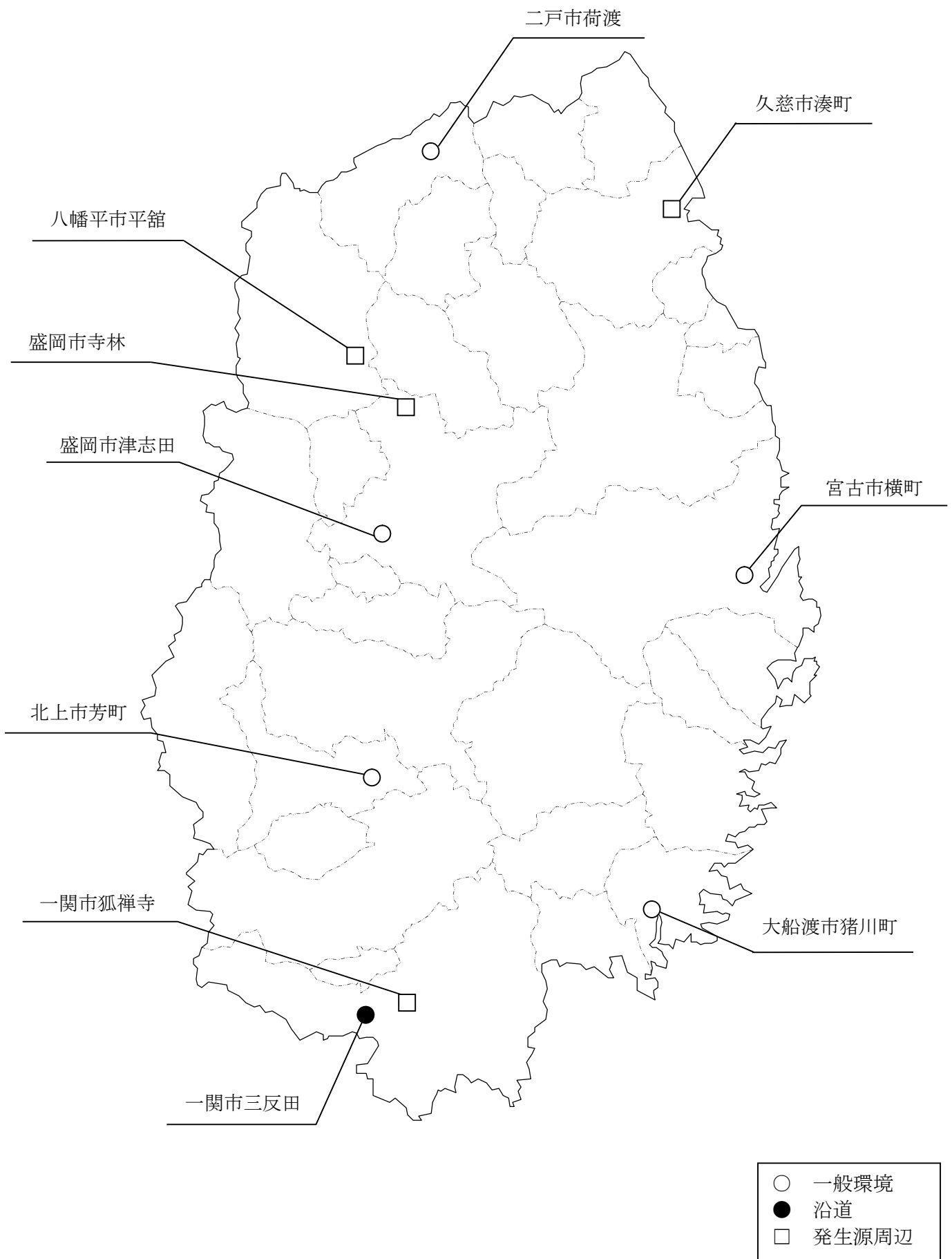


表2 公共用水域のダイオキシン類の調査結果

(環境基準：水質 1 pg-TEQ/L 以下、底質 150pg-TEQ/g 以下)

区分	調査地点		毒性等量濃度		調査地点		毒性等量濃度	
	水域名	地点名	水質	底質	水域名	地点名	水質	底質
河川	雫石川上流葛根田川	葛根田橋	0.036	0.15	遠別川	向渡橋	0.039	0.30
	雫石川上流南川	矢川橋	0.035	0.42	高桧沢	薬師川合流直前	0.033	0.13
	矢櫃川	九十九沢合流点	0.035	0.14	閉伊川下流	宮古橋	0.035	1.0
	上黒沢	高松2号橋	0.034	0.18	甲子川	矢の浦橋	0.037	0.46
	滝名川	滝名川橋	0.041	0.16	米代川	県境堰堤	0.034	0.32
	稗貫川	稗貫川橋	0.038	0.14	北上川(1)	岩崎橋	0.036	0.17
	豊沢川下流	桜橋	0.061	0.15	和賀川中流	広表橋	0.071	0.15
	猿ヶ石川	安野橋	0.046	0.23	伊手川	森大橋	0.15	0.20
	廻戸川	ごみ焼却場2km上流	0.039	0.14	久保川	赤子橋	0.13	0.36
	宿内川	宿内橋	0.26	0.59	砂鉄川	生出橋	0.055	0.15
	胆沢川下流	再巡橋	0.049	0.16	大川	宮城県境	0.071	0.16
	金流川	天神橋	0.14	0.59	瀬月内川	大向橋	0.077	0.20
	千厩川上流	久伝橋	0.045	0.13	夏井川	旧夏井橋	0.044	0.14
	千厩川下流	松形橋	0.084	0.42	築川 ※1	寺沢橋	0.062	0.13
	千厩川下流	水門	0.067	0.45	中津川中流 ※1	水道橋	0.075	0.15
	盛川下流	佐野橋	0.035	0.39	乙部川 ※1	乙部橋	0.064	0.21
	馬淵川上流	府金橋	0.047	0.19	雫石川下流 ※1	諸葛橋	0.13	0.15
	久慈川下流	湊橋	0.039	0.14	磐井川下流 ※2	狐禅寺橋	0.073	0.24
湖沼	御所ダム ※2		0.067	1.6	胆沢ダム ※2		0.067	1.7
海域	宮古湾	S-6	0.036	0.55	釜石湾(甲)	S-15	0.036	3.4

注) 水質に係る濃度の単位は pg-TEQ/L、底質に係る濃度は pg-TEQ/g

※1 盛岡市が測定を実施

※2 国土交通省東北地方整備局が測定を実施

図2 令和2年度ダイオキシン類（公共用水域）モニタリング調査地点

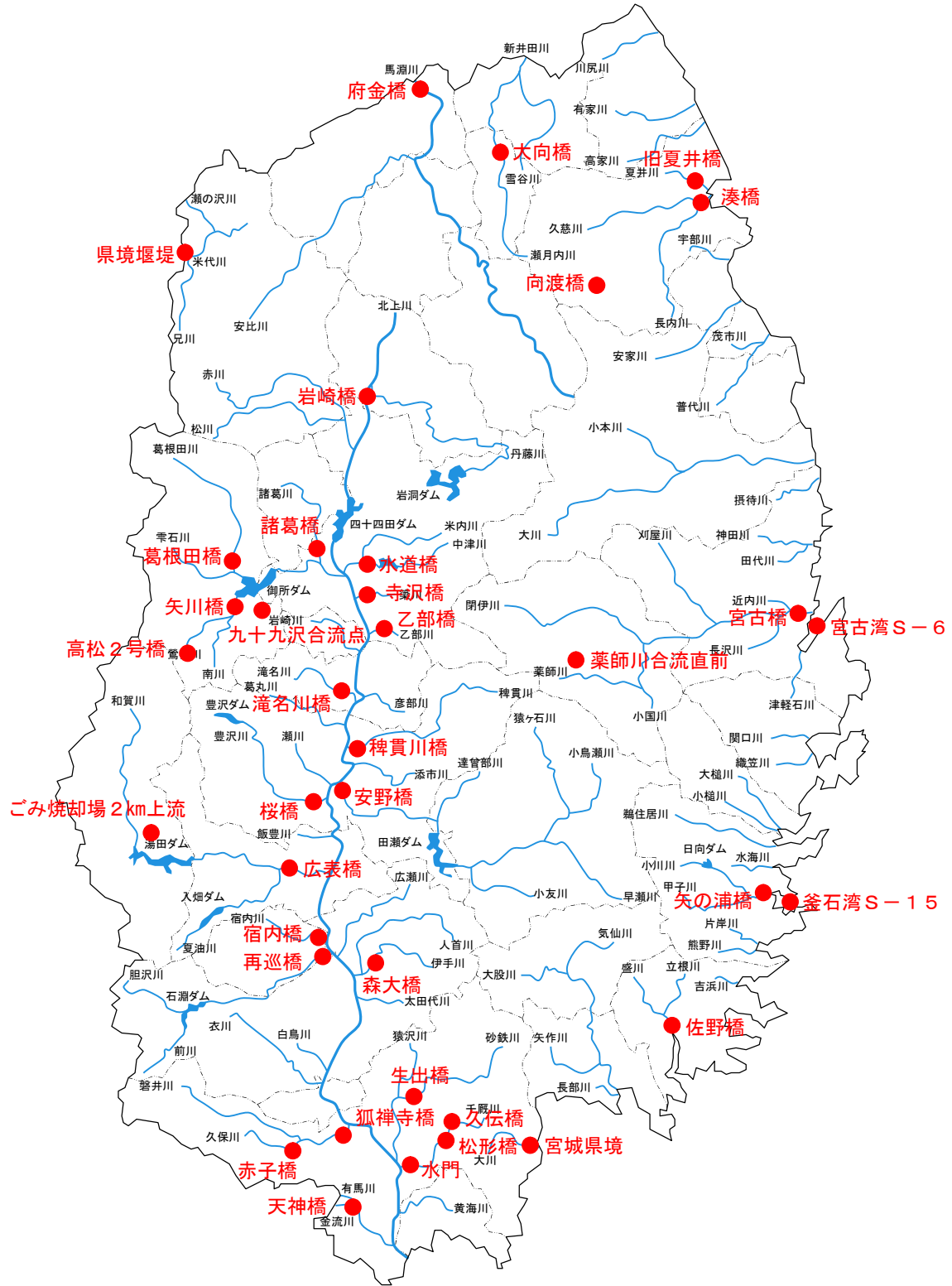


表3 地下水のダイオキシン類の調査結果

(水質環境基準：1 pg-TEQ/L 以下)

調査地点	毒性等量濃度
宮古市八木沢	0.034
葛巻町葛巻	0.033
矢巾町土橋	0.033
住田町上有住	0.033
大槌町新町	0.033
野田村玉川	0.054
盛岡市大ヶ生※ <sup>1</sup>	0.037

備考) 濃度の単位は pg-TEQ/L

※1 盛岡市が測定を実施

図3 令和2年度ダイオキシン類（地下水）モニタリング調査地点





表4 土壌のダイオキシン類の調査結果

(土壌環境基準：1,000pg-TEQ/g以下)

区分	調査地点	毒性等量濃度	区分	調査地点	毒性等量濃度
一般環境	花巻市四日町	0.0020	発生源周辺	C-1 滝沢市大石渡岩手山線	6.3
	一関市千厩町千厩字北方	3.8		C-2 滝沢市柳沢上郷2号線	6.7
	紫波町日詰字西裏	8.9		C-3 滝沢市第6柳沢線	2.1
	岩泉町岩泉字惣畑	0.73		C-4 滝沢市柳沢5号線	0.93
	九戸村大字伊保内	3.3		C-5 滝沢市柳沢幹線	2.3
	洋野町種市	8.0		C-6 滝沢市大石渡岩手山線	2.4
	盛岡市好摩	0.017		C-7 滝沢市柳沢幹線	1.5
発生源周辺	A-1 北上市稲瀬町岩川	6.5		C-8 滝沢市柳沢上郷2号線	8.9
	A-2 北上市稲瀬町福田地	6.3		C-9 滝沢市柳沢上郷2号線	0.73
	A-3 北上市稲瀬町岩川	7.3		D-1 盛岡市寺林字下も山※	7.6
	A-4 北上市稲瀬町岩川	2.9		D-2 盛岡市寺林字平森※	5.2
	A-5 北上市稲瀬町福田地	0.014		D-3 盛岡市寺林字下も山※	28
	A-6 北上市稲瀬町岩川	4.0		D-4 盛岡市寺林字境平※	2.7
	A-7 北上市稲瀬町福田地	17		D-5 盛岡市寺林字才津沢※	1.5
	A-8 北上市稲瀬町内門岡	7.7		D-6 盛岡市巻堀字上桑畑※	0.12
	A-9 北上市稲瀬町福田地	2.4		D-7 盛岡市巻堀字巻堀※	1.6
	B-1 奥州市江刺玉里字老耳	7.0		D-8 盛岡市馬場字滝ノ沢※	0.011
	B-2 奥州市江刺岩谷堂字大沢田	0.56		D-9 盛岡市寺林字平森※	11
	B-3 奥州市江刺岩谷堂字上苗代沢	0.34			
	B-4 奥州市江刺藤里字砂子田	2.9			
	B-5 奥州市江刺玉里字老耳	16			
	B-6 奥州市江刺岩谷堂字上苗代沢	0.71			
	B-7 奥州市江刺玉里字老耳	0.57			
	B-8 奥州市江刺岩谷堂字大沢田	3.3			
	B-9 奥州市江刺岩谷堂字大沢田	1.7			

備考) 濃度の単位は pg-TEQ/g

※ 盛岡市が測定を実施

図4 令和2年度ダイオキシン類（土壌）モニタリング調査地点

